

広報業務の効率化によるマーケティング強化



支援機関 ポストコロナ経営力強化支援事業共同企業体
支援内容 生成AI活用による広報業務の効率化

事業者 株式会社コラボハウス

代表者名 代表取締役 松坂 直樹
業 種 ハウスメーカー
所 在 地 愛媛県松山市北井門2丁目12-5
設 立 平成20年6月
資 本 金 9,000万円

支援に至る経緯

広報業務の効率化に向けた生成AI活用を検討

住宅・店舗の設計・工事、メンテナンス・リフォーム工事を手掛けるハウスメーカーとして、「設計士とつくるデザイナーズ住宅」をコンセプトに、土地探しからアフターメンテナンスまで家づくりの全てを設計士が担当する建築設計を請け負っている。

SNSでの発信を増やし、広報業務を効率化したいと考えていたところ、取引金融機関から愛媛県の「CONNECTえひめ」事業を紹介された。生成AIの社内導入に興味は持っていたが、具体的な活用イメージが湧いていなかったため、今回の支援を通じて生成AIの正しい理解と実用的な活用イメージを掴みたいと考えていた。



支援の内容

生成AIの活用により、SNS投稿文の作成を中心に業務効率化を図る

コンサルティング会社の支援を受けて業務の発生頻度や作業時間を軸に、効率化を必要とする業務の優先順位を明確にし、実証を行う業務を選定した結果、SNSの記事作成、ルームツアー動画の原稿案作成、リクルートサイトの記事作成から効率化を図ることに決定した。また、コンサルティング会社と共に実施した生成AIに関するセミナーとワークショップを通じて、生成AIの概要や活用のポイント・注意事項を理解し、実証を行う業務の流れを可視化することで、生成AIが活用できそうな作業を特定した。

今回の支援事業で生成AIを活用した取り組みのうち、特に成果が出た内容として、Instagramで当社が手掛けた家の外観や内観を紹介する投稿文の初稿を生成AIで作成したことが挙げられる。

具体的には、過去のInstagramの投稿文を生成AIに学習させ、家の特徴が分かる資料と「今回制作した家の特徴を洗い出してほしい」「洗い出した特徴を過去の投稿の構成に似た形で作成してほしい」という指示を入力することで、投稿文案の初稿を出力した。出力された初稿に対して、担当者が最終的な修正を行うことで、投稿文を完成させることができた。結果として、1件あたりの投稿作業の時間短縮（30分から5分に短縮）ができただけでなく、担当者における文章作成のハードルや作業ストレスの減少、アイデアの創出向上を実感した。

上記の効果に加え、社員が生成AIの活用イメージを掴むことができ、実証期間中に、メール作成、翻訳、資料作成、コラムや広報バナーなど多岐にわたる業務に生成AIを活用することができた。

支援の効果

生成AI活用で広報業務の文章作成を効率化し、マーケティング強化に寄与

今回の実証を通じて、実際の業務で生成AIを活用することができたため、生成AIの業務活用イメージを掴むことができた。その結果、実証後も生成AIを業務で本格導入することとなった。特に、Instagramの投稿においては、生成AIを活用することで、1件当たりの作業効率を高めることができたため、毎日コンテンツを投稿をすることができ、半年間、フォロワー数を伸ばし続けることができていた。

家づくりに関するInstagramでの情報発信を通じて、自社の認知度を高めていくうえで、①良質なコンテンツを発信すること、②高頻度で投稿し続けることが必要と考えている。②の継続投稿は、投稿するコンテンツがあったとしても、担当者の投稿に係る労力が大きいと、高いハードルとなっていた。しかし、生成AIを活用することで、1件あたりの投稿に係る作業時間を削減し、連続して毎日投稿することが可能となり、マーケティング活動の強化に繋がっている。

今後の展開

生成AI活用で家づくりに係る社内情報整理と多様で創造的な提案を期待

生成AIの活用による広報業務の効率化を引き続き推進しながら、設計士の思考の幅を広げより多様で創造的な提案を行うことができると期待している。例えば、生成AIで最新トレンドや過去の間取り等を学習・分析することで、設計士が見落としがちなデザインや従来では思いつかないような間取りなどのアイデアを引き出すことで、お客様の価値観に寄り添ったご提案ができ、納得感や満足感を高めていくことに直結すると考えている。

生成AIの更なる活用により、各業務の効率化や個人単位でのスキルアップを図るとともに、中長期的には、従業員個人や社内で蓄積されている家づくりの知識やノウハウ、過去の設計データ等の情報を集約し、有効活用することで、従業員一人一人が新しい技術に主体的に向き合っていく企業文化を醸成できると見込んでいる。これからも家づくりを通じてその地域のワクワクする未来を創り、地域に根差した持続的な発展を目指していきたい。



＜生成AIを活用したルームツアー動画の原稿案作成（タイトル案作成）＞

＜生成AIを活用したInstagramの投稿＞

活動を振り返って

review

支援事業を受けて

代表取締役 松坂 直樹



本プロジェクトを通じて、生成AIの活用が業務効率化だけでなく、組織の成長にも寄与する可能性を実感しました。特に、業務の具体化・言語化のプロセスでのコンサルティング会社の支援は、期待を上回るものでした。新築注文住宅という事業特性上、属人的な業務が多く、業務フローの整理が必要不可欠でしたが、コンサルティング会社のアプローチにより、生成AIをどのように活用すれば実務に落とし込めるのかが明確になりました。一方で、受講者間での理解度や活用モチベーションの差が課題として浮き彫りになりました。技術を定着させるには、個々のスキル向上にとどまらず、組織全体としての文化醸成が重要であると感じています。また、設計業務への導入は依然として未開拓の領域であり、今後の検討が求められます。本プロジェクトをきっかけに、生成AIをより実践的に活用し、地域に根ざした企業としてさらなる価値を生み出していきたいと考えています。